



International Business

投資対象としてのドイツの魅力

ヨーロッパ最大の経済力からもたらされる利益を求めて

はじめに

投資対象としても魅力的なドイツは全世界の投資家たちに大きな商機を提供します

ドイツは世界有数の輸出国と知られています。一方で、国外からの直接投資もドイツ経済を支える重要な要因となっているのはあまり知られておりません。

ドイツのGDPの約4分の1は国外企業のドイツ子会社により賄われております。そして、この比率は年々増加傾向にあります。弊社の統計が示す通り、企業買収、設立、合併を伴う進出と同時に投資の撤退が発生しており、国外企業数は劇的に変化しております。

ドイツはヨーロッパの中で最も経済力があり、なおかつ人口密度の高い国であることから、ドイツが近隣諸国からも直接投資の対象となっている現実も自然な流れと言えます。しかし、驚くべき事に、ヨーロッパ域外の企業にとってもドイツはヨーロッパにおけるビジネスの起点として選ばれるケースが多いと共に、国外企業にとって、投資しやすい環境が整っていることから、好まれているという状況があります。これは過去40年間にわたり、ドイツ政府が国外企業に対して魅力的な投資先としての働き掛けを続けてきたことに起因しております。

「Made in Germany」という有名かつ信頼のブランドは高品質の製品の象徴として、世界各国で販売されております。同時に魅力的な投資環境作りのため、ドイツは国を挙げてバックアップをしております。高度な教育水準と安定した政治環境といった先進的なインフラはより多くの国外企業による投資誘因を高めております。

産業は成熟し、既に多くの国外企業による投資がなされておりますが、今日のドイツでは次世代における高度先端産業において、新たな始まりを迎えつつあり、さらに一方で伝統的かつグローバルでビジネス展開をしているファミリー企業では後継者を探しているという状況でもあります。また、弊社のドイツ国内における地域毎の分析では今後も各地で多くの投資機会が発生するという結果になっております。

弊社の分析は現在の国外企業によるドイツへの直接投資における情報を包括的に提供すると共に、貴社の投資判断に資する情報、国外企業における投資が活発に行われている産業と地域に関する情報及び各国別のドイツに対する投資状況を盛り込んでおります。

貴社における有望な投資対象の特定と投資の意思決定に際し、弊社の分析結果をお役立て頂けますと幸いです。

アンドレアス・グルンツ

Managing Partner
International Business
KPMGドイツ



Executive Summary



1.

ドイツにおける外国直接投資

ドイツ投資家の現在の展望は多角的である。最近の動きとしては、サービス分野における活動に強い傾向を見せている。

- » 全ての部門において、数多くの国外企業による直接投資の実績があり、さらに持続的な活動を見せている。ドイツの資産は、強力な競争力により、保全され、また状態を維持するよう期待されている。
- » ドイツは、世界的に見ても、国外企業による直接投資がトップレベルの国の一つである。現在のドイツにおける投資額は記録的に高く、2014年にはM&A及びグリーンフィールド計画との総額が1,483件である。2015年も依然として、高い投資水準を維持している。
- » 東欧諸国及び米国はドイツにおける大型投資家である。また、多くの高度成長市場からも徐々に関心が強まってきている。近年は、中国のドイツにおける活動が従来の投資諸国と比較して目立ってきている。
- » 製造業における投資は依然として強いままであるが、ハイテク及び不動産業における成長も顕著である。
- » 投資家は、特定の地域に注目する傾向があり、ドイツ国内の他の地域に興味深いチャンスがあるのを見落とす可能性がある。

ページ6から23



2.

ドイツの競争上の優位性

経済的および構造的に強力な指標が、ドイツ資産の持続的な競争上の優位性を示している。

- » ドイツの大規模な輸出志向産業は安定している。
- » 中小企業の充実したウェブ上のユニークな貿易構造は、世界的リーダーである。
- » 革新的な考えは、教育水準が高く効率的な労働力に基づく原動力となる。
- » ドイツは次の世代の産業を受け入れる準備ができている。しかし、IT及びビジネスサービスを含む他の分野にも注目している。

ページ24から37



3.

ターゲット企業をめぐる競争：ドイツへの投資を行う主要国家

ドイツへの投資は企業の競争力をよりいっそう高めることにつながる。ターゲットになりうる企業は、買い手企業がさまざまな投資基準を持つ中でもそれに見合ったものになる。

- » 多くの企業がドイツの優れた技術やその安定的な低リスクのマーケットに興味を持っている。
- » 投資の対象は買い手企業の国の産業や特色による傾向がある。ドイツ企業に関心を持つ国のタイプは継続的に変化しており、ターゲット会社はそのタイプごとに似通っている。場合によってはそのタイプをまたいでターゲットになる会社もある。

ページ38から47



4.

投資戦略と見通し

昨今におけるドイツ企業の戦略的な優先事項はチャレンジングな環境にいち早く移行する意欲を持っていることを表明することである。

- » ドイツへの投資を行おうとする企業はその企業が属する産業における競争環境を考慮する必要がある。
- » 産業における「ゲームチェンジャー」になることはもっとも重要な課題であり、かつ、それは広範な産業に影響を与えるものである。
- » IT産業やエネルギー産業は今後重要な変化と機会に直面することになる。
- » 適切な投資戦略の決定と継続的なモニタリングが重要である。
- » 投資を行う企業は現地の要求事項と文化を理解し、それらに適合する必要がある。

ページ48から57

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供しよう努めておりますが、情報を受け取られた時点及びそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2015 KPMG AG Wirtschaftsprüfungsgesellschaft, a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative ("KPMG International"), a Swiss entity. All rights reserved.

The KPMG name and logo are registered trademarks or trademarks of KPMG International.